

(様式第7号)

## 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和4年6月30日

作成者：西本佳子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋T i oクラブ	
事業名	日時(期間), 場所
民族楽器ジョイントコンサート 二胡×津軽三味線×瓢箪笛の調べ ～ロマンと情熱と安らぎ～	令和3年11月6日 神戸相楽園 旧小寺家厩舎前の広場
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
プロの演奏家による民族楽器ジョイントコンサートを企画実施した。 「音楽ボランティア養成スキルアップ講座」を受講して、二胡の合奏のスキルを上げ、プロの演奏家とのコラボコンサートを実現した。 コロナ対策として観客はマスク着用でのコンサートとなった。	(350)人
	参加者数
	(17)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
1、自主活動が制限されることが多く厳しい状況下でも、音楽ボランティア養成スキルアップ講座で得意技能を磨き音楽ボランティアとして地域で意欲的に活動する人材が育った。 2、コンサートは音楽の力で思いを届けることができる。心を癒す時間を共有できた。 3、音楽ボランティア活動を通して新たな出会いやつながりが生まれる。そこで気づいたこと見えてきたもの、人々に寄り添い・支えるボランティア活動の意義を再認識した。	
今後の展望(どのように継続, 発展するか)	
1、音楽ボランティア養成講座で同じ趣味を持つ仲間と出会えて、自分の個性や能力を発揮できるきっかけとなった。誰かの為に地域の為に何かできることはないかなどの思いから趣味を得意技能として活かし、経験を積み、自分を磨きながら積極的にボランティア活動に取り組み地域に貢献します。 2、コロナ禍で地域における共助の概念、支え合いなどは希薄になってきました。今後は支え合いや共助などの活動がより活発になり、参加する側と受け入れる側お互いに楽しめる良い関係が出来るようになると期待しています。地域の他団体とも協働して創意工夫を重ね遊びの要素を取り入れたイベント企画・実施で活動の継続と活性化を目指します	